



▲そろいの帽子とタスキで子どもたちの安全を見守るパトロール隊

登米で防犯パトロール 子どもの安全は地域で守る

登米小の学校支援ボランティア事業「防犯パトロール」が、週に1度通学路で行われています。地域住民の7人が隊員となって、子どもたちの下校時間に合わせて、通学路を歩きながら危険個所のチェックをしたり、地域の人たちに防犯チラシを配ったりするなど、声掛けを中心に活動しています。隊員の方は「この活動が広がり、地域の人たちが子どもたちの登下校時に声掛けをしてくれればうれしい」と話していました。活動に興味がある登米地区の方は、登米小へお問い合わせください。

中田で夏川堤防敷一斉清掃 ふる里の川を協働できれいに

夏川堤防敷一斉清掃（中田地区北上川水系夏川河川愛護会主催）が3月18日、夏川の堤防敷で行われ、同会員や中田町消防団員ら約350人が参加しました。堤防敷には、草や木が生い茂り、また空き缶・ビン、ビニールなどのごみも散乱し、川の流れを妨げる要因になっています。このようなことから、同会では市、消防団と共同で年2回（春はごみ収集と枯草焼却作業、夏はごみ収集と草刈り）の一斉清掃を行っています。春とはいえ北風の吹く寒い日でしたが、参加者はごみ拾いや枯れ草の焼き払いに汗を流しました。



▲夏川堤防敷の枯れ草を刈り取り焼却作業に当たる愛護会の会員



▲新校舎に移転のため、最後となった豊里小校舎での卒業証書授与式

豊里小・中学校で卒業式と卒業証書授与式 愛着のある校舎に最後の別れ

増改築された新校舎の完成により、4月から小中一貫教育校「豊里小・中学校」が本格的にスタートします。その両校で3月に卒業イベントが行われました。豊里中では、第60回卒業式（小中一貫教育校としては第1回）を9日に実施。56人の9年生（中学3年生）が学び舎を巣立ちました。また、移転となる豊里小では13日に「校舎お別れ会」、15日には卒業式に代わる卒業証書授与式を開催。4月から6年生49人が7年生となり、新校舎で豊里小・中学生としての新しい学校生活が始まります。

迫で親子なわとび大会 縄跳びで親子の触れ合い

第17回佐沼地区親子なわとび大会（子ども会育成協議会主催）が2月25日、迫体育館で開催されました。手軽にできる縄跳びを通じて、親子の触れ合いや健康増進、運動不足解消を目的に開催。親子約300人が参加しました。跳んだ回数を競う「エンドレスなわとび（時間制限10分）」では、優勝した子どもが500回以上も跳ぶ好成績に、会場は大きな拍手で包まれました。参加した親子は「もっと練習して、たくさん跳べるようになりたい」「子どもを前に張り切りすぎたので明日の筋肉痛が心配」と話していました。



▲軽快な動きで跳びこなす子どもたちに保護者は驚いていました



▲紙芝居などを見ながら親子で桃の節句を楽しんだひなまつり会

石越子育て支援センターでひなまつり会 桃の節句を親子で楽しむ

女の子の健やかな成長を願って、ひなまつり会（石越子育て支援センター主催）が3月2日、同センターで開催されました。石越地区の親子約50人が参加。会では「おひなさまをつくろう」という物語の紙芝居を見たり、「たのしいおひなさま」をみんなで歌ったりするなど、楽しい時間を過ごしました。また、子どもたちは、ひなあられを喜んで食べていました。参加した保護者は「子どもが病気にならず、健やかに育ってくれるように願いを込めながら桃の節句を楽しみました」と話していました。

東和鱒淵保育所で修了・閉所式 名残を惜しみ長い歴史に幕

地域の子どもの成長を見守り続けた鱒淵保育所（昭和38年開所）が、園児の減少などにより3月31日で閉所となりました。修了式に向けて園児6人は、お別れの言葉や保育証書の受け取り方を練習。24日の修了式では、上手に修了証書を受け取りました。4月から新しい保育園に通う、佐藤俊哉くんは「保育所がなくなるのは寂しいけど、新しい保育園ではたくさんの友だちと遊びたい」と話していました。閉所式は、修了式後に引き続き行われ、地域住民に惜しまれながら44年の長い歴史に幕を閉じました。



▲鱒淵保育所最後の修了式に備え、証書の受け取り方を練習する園児